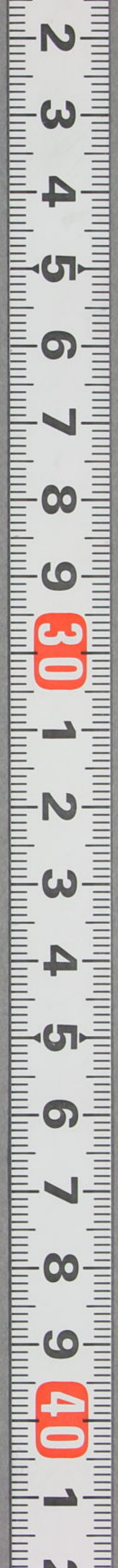




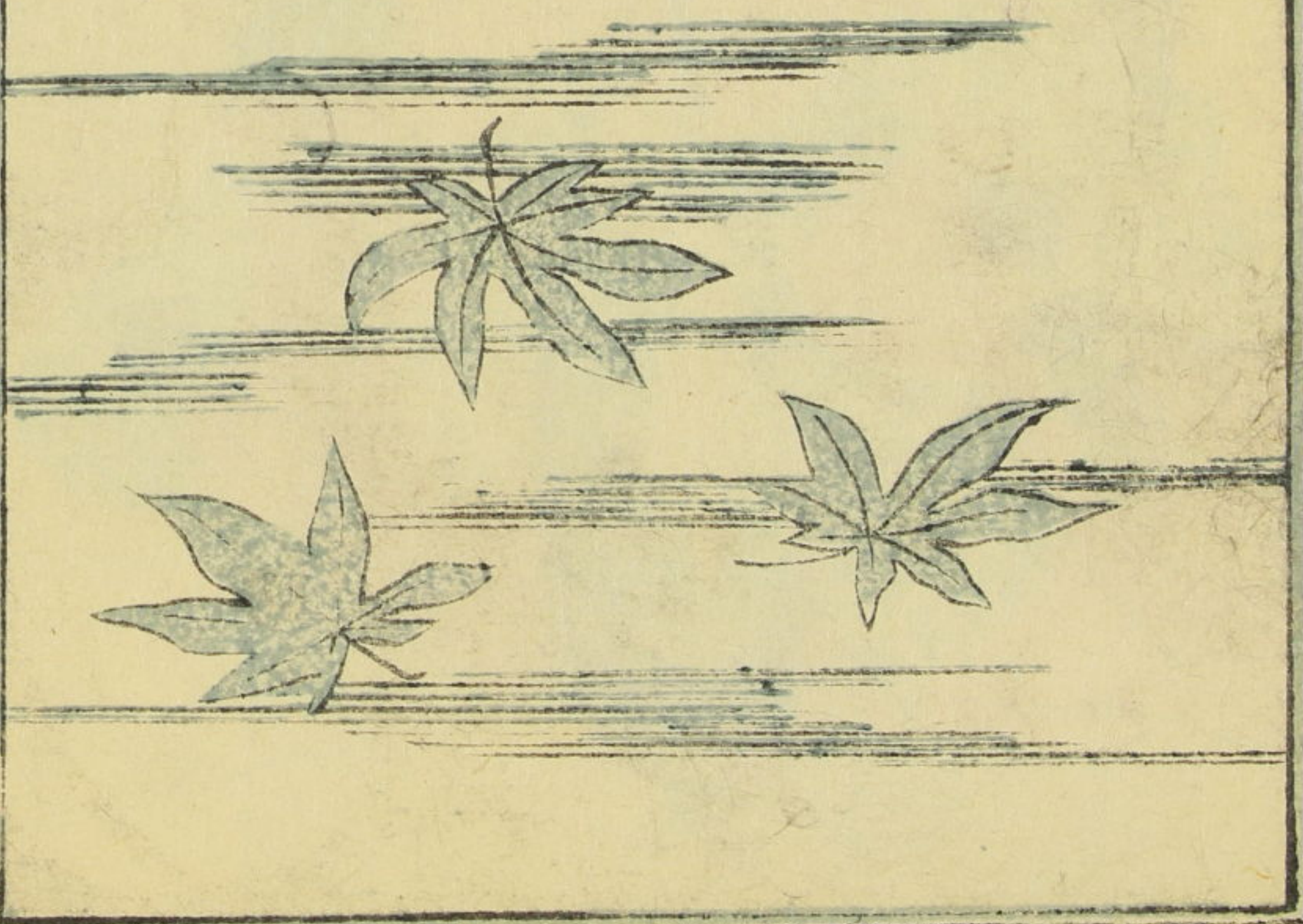
十六篇上

~ 13  
3706  
31



為 修 長 可  
竹 保 長 志  
日記

くろくろくろく  
あつろく



那 大津 繪の端 唄る 塗笠  
娼妓の 借閣 鷹の 据ね

少年の 左 右 流行 草 及 紙 多 門 之 助

五郎 小 會の 場 編つ け 八 爰 筆

作者も 發起 短く 局を 結ぶ 福 禄 壽

天 德の 日 取 長 撒子 架て 及 び 上 の上 也

考て 思 的 へ ま り と 中 擯 の 矢 の 根 五 郎

締 ら り る 座 頭 の 擯 鼻 禪 只 ね ら ら と 瓢 箆

態 を 押 へ 記 して り 嗣 輯 と せ

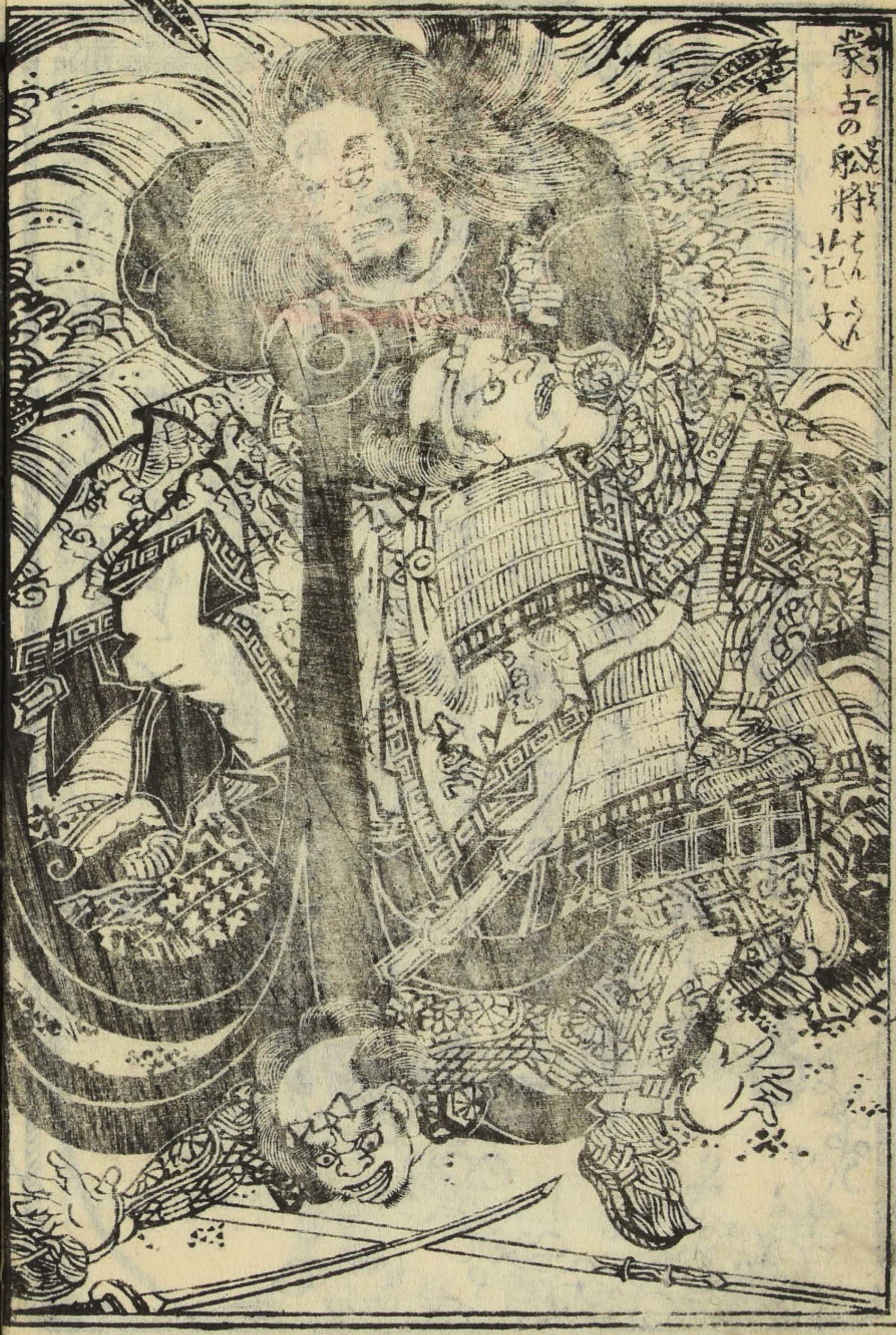
丁卯春新稿

為 永 春 水 焉





北条時宗



蒙古の戦将 北条時宗

文正













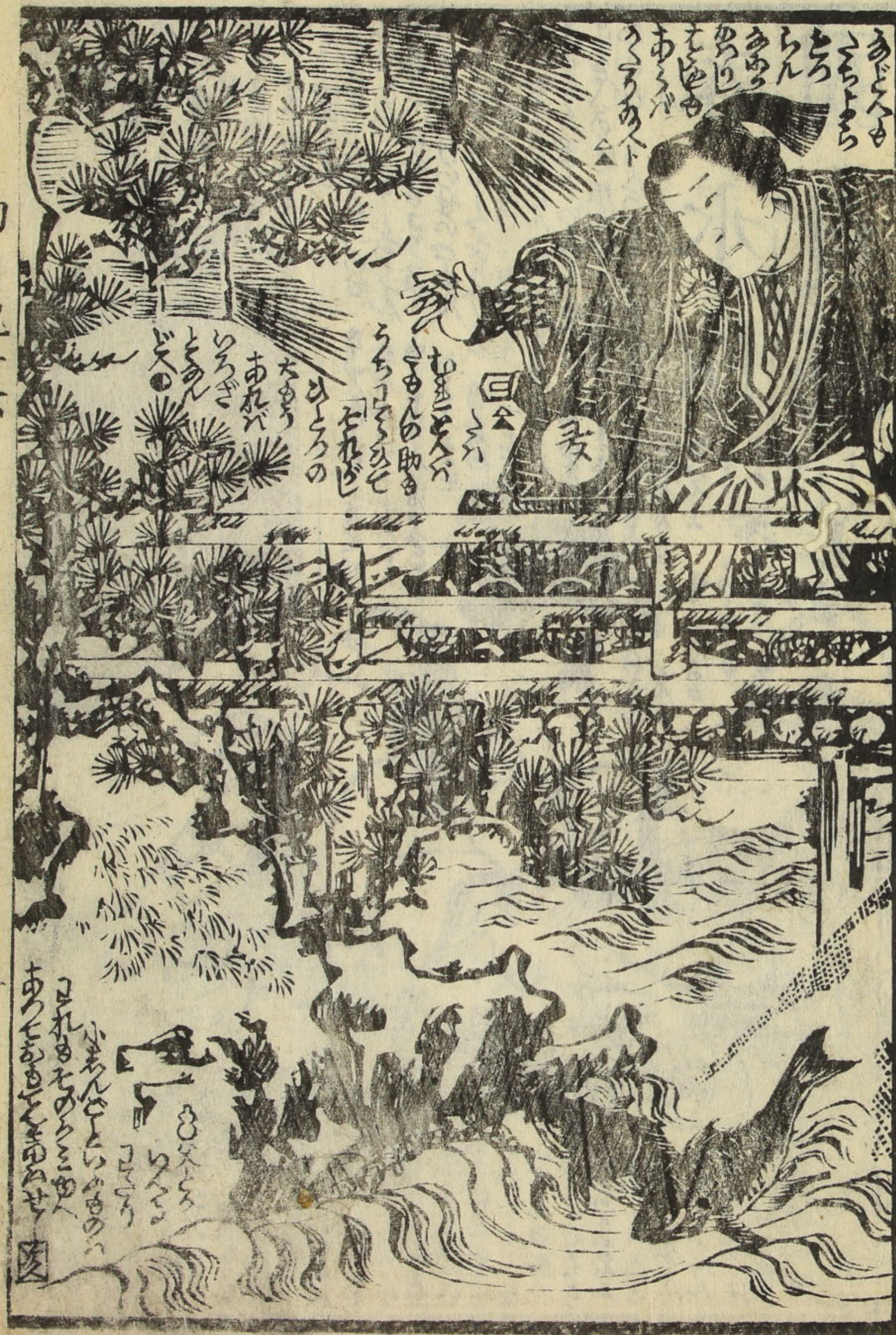






つたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや  
つたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや  
つたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや

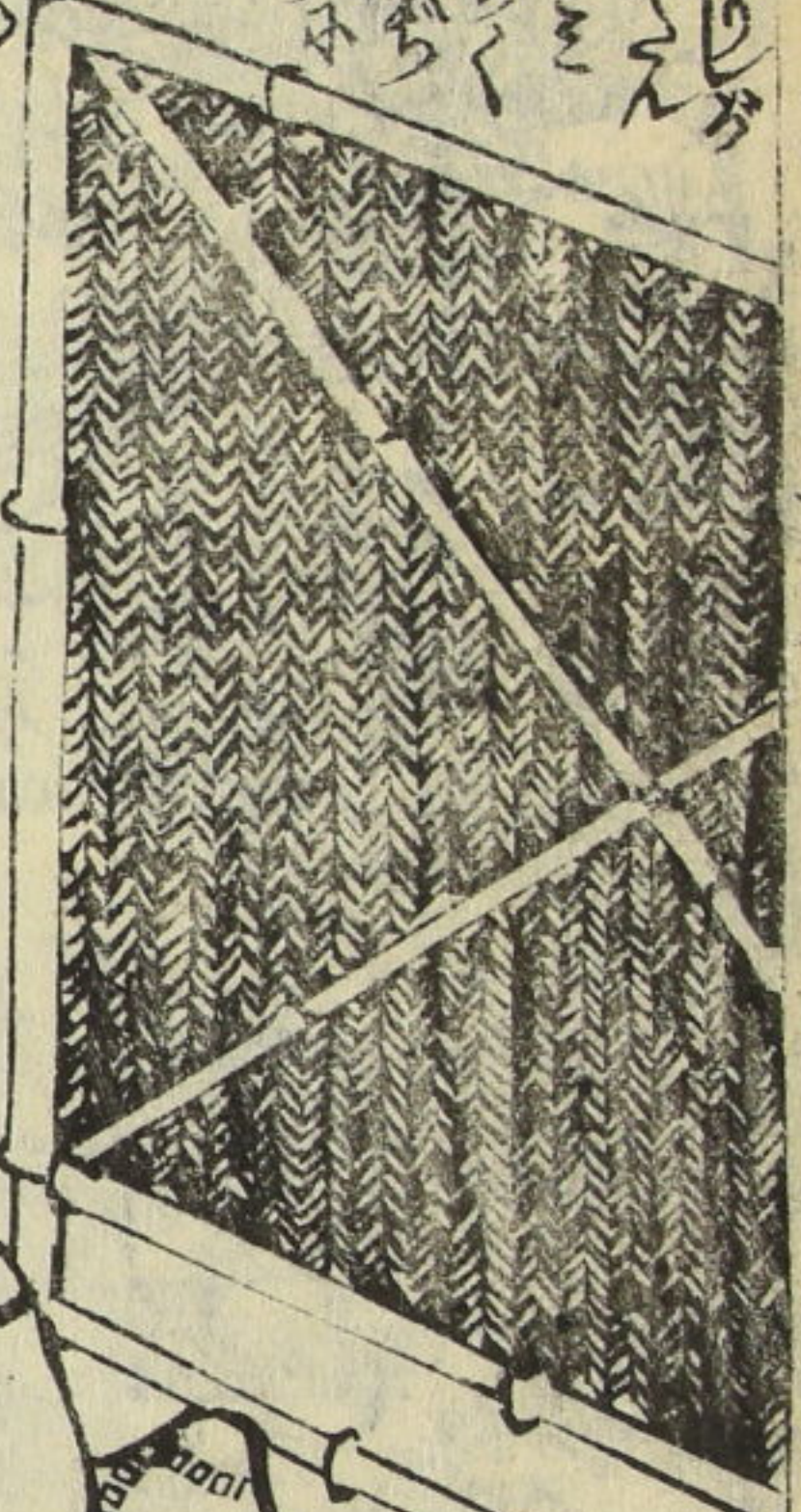
あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや  
あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや  
あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや



あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや  
あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや  
あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや

あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや  
あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや  
あつたはるきもむらさきも  
はるかたもまらりや

父のあはれをうけつるは  
小おのちをせしめし  
それよりけりては  
そのあはれを  
そのあはれを  
そのあはれを



父のあはれをうけつるは  
小おのちをせしめし  
それよりけりては  
そのあはれを  
そのあはれを  
そのあはれを

# 春水作 國貞画



父のあはれをうけつるは  
小おのちをせしめし  
それよりけりては  
そのあはれを  
そのあはれを  
そのあはれを

父のあはれをうけつるは  
小おのちをせしめし  
それよりけりては  
そのあはれを  
そのあはれを  
そのあはれを

## 水家 實母散

水家 實母散  
中橋南傳馬町 丁目東六  
千葉堂孝輔製

## 柳蔭月朝妻

柳蔭月朝妻  
四編りし  
梅朝樓國貞画

## 藪黄鵠八幡不知

山々亭有人作  
錦朝樓芳席画

當春賣出... 柳蔭月朝妻... 藪黄鵠八幡不知... 山々亭有人作... 錦朝樓芳席画... 千葉堂孝輔製



福寿草